

「鶴林寺」



みなさんご存じの、聖徳太子開基伝承をもつ、播磨地方有数の古寺。

第43号「聖徳太子と加古川」で紹介していますが、今回は少し詳しく取り上げてみます。(鶴林寺HP等参照)

物部氏ら排仏派の迫害で飛鳥から播磨に逃れた高句麗僧・恵便えべんに師事する聖徳太子は、教えをうけるため播磨を訪れ、腹心の秦川勝はたのかわかつに命じて「刀田山四天王寺聖霊院」を建立しました。これが「刀田の太子さん」、「播磨の法隆寺」のはじまりとされています。宗派は天台宗、本尊は薬師如来。



12世紀初めに鳥羽天皇が勅額を贈り、以来「鶴林寺」と寺号を改めました。「鶴林」とは、釈迦入滅(死亡)地の「沙羅双樹さらそうじゆの林」を意味し、「釈迦の入滅を悲しみ、一夜にして枯死した沙羅の木が、鶴の羽のように白変した」という伝説に由来するそうです。



マスコットキャラクター「聖太くん」

鶴林寺蔵：聖徳太子像

建築や収蔵文化財は一見の価値あり。また、恒例の行事、マスコットキャラクター(聖太くん)設定、新パワースポット「ふりきる門」、HPの「鶴林寺不思議発見」等、関心を高める取組にも力を入れています。夏休みに訪れてみては？



邪念を振り落とす「ふりきる門」左「ふりきり石」下



ぶらり加古川 第52号
平成29年7月